

さあ、保険の新次元へ。

**T&D** 保険グループ



# 株 主 通 信

## 2020年度 中間報告書

2020年4月1日から2020年9月30日まで

### Contents

ページ

- 1 トップメッセージ
- 3 中期経営計画の進捗
- 5 新型コロナウイルス感染症への対応
- 6 サステナビリティの取組み
- 7 社外取締役インタビュー
- 8 2020年度上半期のグループ各社の取組み
- 11 グループインフォメーション
- 12 業績ハイライト

株式会社 T&Dホールディングス

証券コード: 8795

## トップメッセージ



株主のみなさまにおかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに「2020年度 中間報告書(株主通信)」をお届けしますので、ご高覧くださいようお願い申し上げます。

T&D保険グループは、「共有価値の創造」をテーマに、社会に価値を提供し、社会から必要とされる企業を目指して、グループ一丸となって取り組んでまいります。

みなさまにおかれましては、今後も変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。

2020年12月

株式会社T&Dホールディングス

代表取締役社長 上原 弘久

### Q1

新型コロナウイルス感染症への対応について教えてください。

**A** このたびの新型コロナウイルスの拡大により健康被害を受けられたみなさま、事業等に影響を受けておられるみなさまに、心よりお見舞い申し上げます。

当社グループでは、新型コロナウイルスに感染されたお客さまに少しでもご安心いただくために入院給付金の支払要件の変更等を実施しているほか、保険料払込猶予期間の延長など保険契約を継続していただくための取組みを行っています。

また、コロナ禍において社会活動が大きく変化するなか、新たな営業スタイルとして、デジタル技術を活用した対面と非対面チャネルの融合や、リモートワーク等の新しい働き方の実現・定着を進めています。

これからも、お客さまや従業員の安全確保と、生命保険会社としての社会的要請にお応えすることを最優先に考え、スピード感を持って取り組んでまいります。

## Q<sub>2</sub>

### 2020年度中間期の業績について教えてください。

A 2020年度中間期の決算は、コロナ禍において営業活動を自粛した影響等があったものの、グループ合算の新契約年換算保険料<sup>\*</sup>は484億円(前年同期比100.6%)となり、親会社株主に帰属する中間純利益は、フォーティテュード社の関連会社化に伴う持分法投資利益の計上等により、1,152億円(同318.0%)と大幅に増加しました。なお、市場の変動による会計上の一時的な損益等を一部調整したグループ修正利益<sup>\*</sup>は336億円と、通期業績予想の700億円に対して計画通りに進捗しております。

グループの企業価値を表すEV(エンベディッド・バリュー)<sup>\*</sup>は、3兆682億円(前年度末比4,800億円増)と、社会環境が不安定な状況においても、着実に積み上げることができました。

この先も新型コロナウイルス感染症のリスクが継続するなか、当社グループを取り巻く環境は大きく変化していくことが想定されますが、引き続き経営の健全性を維持しつつ、安定的・持続的な企業価値の増大を図ってまいります。

<sup>\*</sup>12~13頁を参照ください。

## Q<sub>3</sub>

### 株主還元方針について教えてください。

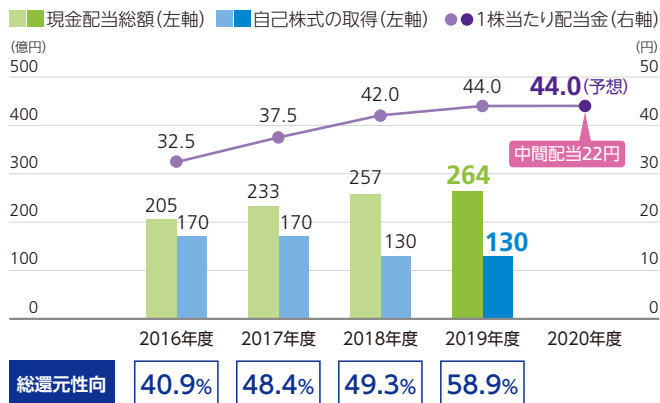
A 当社及びグループ会社の経営の健全性維持に留意し、グループとして必要な内部留保を確保したうえで株主価値の向上に取り組み、安定的な利益配分を実施していくことを基本方針としています。

2020年度の中間配当は1株につき22円、期末配当を含む2020年度の年間配当予想は2019年度と同水準の1株につき44円となります。

また、2020年11月より取得予定価額総額約130億円の自己株式取得を行っております。

今後も収支の状況や自己資本の状況を踏まえ、引き続き株主還元の充実に努めていきたいと考えております。

#### 株主還元実績



# 中期経営計画「Try & Discover 2021 ～共有価値の創造～」の進捗

T&D保険グループは、2019年4月より、3か年の中期経営計画「Try & Discover 2021 ～共有価値の創造～」に取り組んでいます。本中計期間の3年間で「変革と実行」の期間と位置づけ、「コアビジネスの強化」「事業ポートフォリオの多様化」「グループ一体経営の推進」の3つを基本戦略に、絶えず変化する人と社会の課題解決に貢献することで、社会とともに成長する保険グループを目指しています。

## コアビジネスの強化

コアビジネスである国内生命保険事業では、中核生命保険会社3社の強みに磨きをかけ、それぞれが特化する事業領域でのトップブランドの確立を目指しています。

家庭  
マーケット



時代を先取りした  
最優の商品・サービスを提供

- ひまわり認知症予防保険・感染症プラス入院一時金保険等の販売
- 新たな販売チャネルの拡充(スマ保険・インフォマーシャル)

中小企業  
マーケット



法人・個人を一体とした  
トータルな保障を提供

- 業界初のオーダーメイド型定期保険の販売
- 経営者個人・個人事業主市場の開拓

乗合代理店  
マーケット  
(金融機関・  
来店型ショップ)



多様化するニーズを捉えた  
商品・サービスを提供

- 外貨連動型一時払終身保険「生涯プレミアムワールド5」の販売
- 無配当終身保険「生涯プレミアムジャパン5」の販売

## 事業ポートフォリオの多様化

生命保険事業と親和性が高く、グループ連結利益への貢献と将来の高い成長が期待できる3つの事業(アセットマネジメント事業・クローズドブック事業<sup>※</sup>・デジタル保険事業)に取り組んでいます。

特にクローズドブック事業においては、2020年6月に米国再保険持株会社フォーティテュード社に約768億円の出資を行い、グループ連結利益への貢献に加え、クローズドブック事業のノウハウの獲得を進めています。

<sup>※</sup> 保険会社が販売停止した商品の保有契約ブロック(クローズドブック)を取得・集約し、バリューアップを通じて収益化するビジネスモデル。

### アセット マネジメント事業

2019年9月

フランスの資産運用会社  
ティケオー・キャピタル社と  
資本業務提携

### クローズド ブック事業

2020年6月

米国のクローズドブック専業  
保険会社フォーティテュード社の  
持分法適用関連会社化

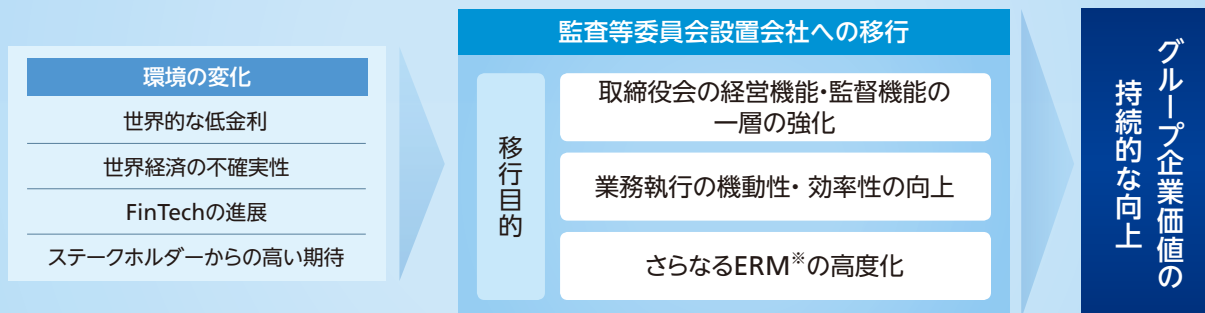
### デジタル保険 事業

2020年6月

スイスのデジタル  
ヘルスケア企業  
ダカド社との業務提携

## グループ一体経営の推進

2020年6月にガバナンス強化の観点から監査等委員会設置会社への移行を行うとともに、太陽生命によるペット&ファミリー損害保険の商品の販売や、大同生命によるT&Dフィナンシャル生命の商品の販売を通じたグループ一体経営のさらなる推進等により、グループ企業価値の持続的な向上を目指しています。



<sup>※</sup> 資本・収益・リスクを一体的に管理することにより、企業価値の増大や収益の最大化といった経営目標を達成することを目的とした戦略的な経営管理手法。

# 新型コロナウイルス感染症への対応

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症への対応として、さまざまな取り組みを行っています。

## お客さまへの対応

新型コロナウイルス感染症が広がるなか、お客さまに安心をお届けするため、保険金・給付金のお支払いをはじめ、お客さまにとって欠かすことのできない金融サービスを安定してご提供できる体制を継続してきました。

また、無利息での契約者貸付の実施や契約更新手続き期間の延長など、お客さまの状況に寄り添った対応を実施しています。

### 主な対応

- 保険金・給付金、契約者貸付金の簡易迅速なお支払い
- 医療機関の事情などにより、自宅その他の施設で治療を受けた場合でも、一定の要件のもと入院給付金をお支払い
- 新型コロナウイルス感染症による死亡の場合、災害死亡保険金をお支払い
- 契約者貸付(新規貸付)の利息免除
- 保険料払込猶予期間・契約更新手続き期間の延長

## 従業員への対応

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、従業員の在宅勤務を拡大するなど対応しています。また、お客さまへの安全の配慮から、一部営業活動の自粛等を実施していた営業職員の雇用維持並びに収入補償を実施し、従業員が安心して働ける環境の維持に努めています。



### 主な対応

- 従業員の感染防止対策  
在宅勤務(テレワーク等)の推進、時差出勤の推進、TV・電話会議の活用等による「3密」の回避、など
- 営業職員の雇用維持及び収入補償

## 株主さまへの対応

2020年度の定時株主総会は、新型コロナウイルス感染対策を講じたうえで6月に開催いたしました。

### 主な対応

- 事前の議決権行使の推奨及び事前質問の受付による、来場自粛の呼びかけ
- 当日の議事の短縮
- 株主さま及び役職員のマスク着用、手指の消毒、検温の実施
- 座席間隔の拡大、換気の実施



## 社会への対応

医療関係団体等への寄付を行ったほか、保険金お支払業務やコールセンター業務などの継続や、中小企業に向けた「雇用調整助成金」の電話相談など、社会が必要とするサービスを提供しています。

### 主な対応

- 社会にとって必要な業務(保険金支払業務、コールセンター業務等)の継続
- 中小企業の雇用安定の支援に向けた「雇用調整助成金」電話相談・社労士紹介サービスを実施(大同生命)
- 感染症対策にご尽力されている医療関係団体等への寄付



# サステナビリティの取組み～SDGs達成への貢献～

T&D保険グループは、「価値の創造を通じて人と社会に貢献するグループを目指す」ことをグループの経営理念としています。幅広い分野の課題の取組みを通じて持続可能な世界を実現しようとする世界共通の目標であるSDGs<sup>※</sup>と、当社グループが経営理念に基づき目指すところは同じになります。

当社グループは、サステナビリティ重点テーマの選定プロセスのなかにSDGsへの貢献を組み入れ、事業の特徴や強みを活かしたグループサステナビリティの取組みを通じて、SDGs達成への貢献を推進してまいります。

※SDGs:Sustainable Development Goals。2015年国連サミットで採択された持続可能な世界を目指して取り組む17の目標。

## 「サステナビリティ重点テーマ」とSDGs：当社グループの行動の例

### 重点テーマ 1



### すべての人の健康で豊かな暮らしの実現

- 少子高齢化進展により変化する社会に向き合う保険商品・サービスの提供
  - 介護の負担に備える保険やサービスの開発、提供
  - 人生100歳時代を生きるための年金、認知症治療に備える保険やサービスの開発、提供
- 中小企業の健康経営<sup>®</sup>実践を支援する活動
- 認知症予防アプリ等の開発、提供等

※「健康経営<sup>®</sup>」とは、企業が従業員の健康管理を経営的視点から考え、戦略的に従業員の健康管理・健康づくりを実践することです。「健康経営<sup>®</sup>」は特定非営利活動法人 健康経営研究会の登録商標です。

### 重点テーマ 2



### すべての人が活躍できる働く場づくり

- OJT、集合研修、自己啓発支援等、人材の活用と育成
- 管理職登用や育児サポート制度整備など、女性の活躍を支援する取組み
- 在宅勤務や労働時間縮減、休暇取得促進等、仕事と家庭を充実させる働き方刷新の取組み
- お取引先企業の従業員さまが健康で安全に働ける環境づくりのお手伝い

### 重点テーマ 3



### 気候変動の緩和と適応への貢献

- CO<sub>2</sub>排出量・電力使用量削減、事務用紙使用量削減の取組み
- 環境保護に資するグリーン購入の取組み
- 森林を守り育てる活動
- 地球環境の保護に取り組むNPOとの協働・支援

### 重点テーマ 4



### 投資を通じた持続可能な社会への貢献

- 再生可能エネルギー使用効率化事業への投資
- 水不足問題を解決する事業への投融資
- 発展途上国の青少年育成支援、雇用支援に貢献する投融資
- 人々の健康の増進に寄与する事業への投資

# 社外取締役インタビュー 監査等委員会委員長 檜垣 誠司 氏



2020年6月の監査等委員会設置会社への移行に伴い、  
監査等委員会委員長からのメッセージをお届けします。

## 監査等委員会設置会社への移行

T&Dホールディングス設立から16年が経過しますが、少子高齢化や人口減少、グローバル化等により、長期的には顧客数の減少が想定されるなど、保険会社の経営も厳しくなっていくことが予想されます。その中で、勝ち残り、株主の期待に沿うような経営を行っていくためには、今までの延長ではいけないという考えを取締役会メンバー全員が共通した認識として持っており、今回のガバナンス体制の変更の大きな動機づけとなりました。

## 取締役会での議論

私たち社外取締役は、ガバナンス体制を変更する動機や目的が健全であるか、その目的に沿った運営をどのように行っていくかについて議論しました。会社の形態を変えれば、自動的に中身が変わるというわけではないという意識が強くありましたので、いかに中身を伴ったものにするかに重点を置いて議論を重ねました。

監査等委員会設置会社へ移行することにより監督と執行の分離がより明確になりますが、経営判断がスピーディーになるか、戦略構築などの中長期的な経営判断に取締役会がしっかりと踏み込んでいけるかが重要になってくると考えています。

私は、今本当に考えなければならないことは何なのかを選

ぶことが、取締役会の一番大事な役割であると考えてきました。今回の移行によって、取締役会がより中長期的な視点に立った議論を交わせる場になっていくと考えています。

当社では、2020年6月に米国の再保険持株会社のフォーティテュード社の25%の持分を取得しました。今までの延長ではないものに、避けずに取り組まなければならないという考えが社外役員の中にありましたので、懸念点も丁寧に議論を重ね、実行を決断しました。今後は、経営執行会議への委任と取締役会での議案の絞り込みにより、このような将来に向けての議論をより深く、スピーディーに議論していけると考えています。

## 監査等委員会委員長として

監査等委員会が監査役と基本的に違う部分は、委員会が組織として動くことだと考えています。当社の場合、5人の監査等委員が、ある程度同じベクトルで、同じ情報をもって議論することが一番大事だと思います。私はいろいろな企業を見てきましたが、成長する会社は、風通しの良い組織であるという共通点があると考えています。当社の監査等委員会も、大きなベクトルは同じ方向を向いたうえで、それぞれの知見やキャリアを尊重し、忌憚なく意見を言い合える場にしたいと考えています。



# 2020年度上半期のグループ各社の取組み



新型コロナウイルス感染症も保障する『感染症プラス入院一時金保険』を新発売

## 感染症 **プラス** 入院一時金保険

2020年9月より、不慮の事故による傷害や新型コロナウイルス感染症を含む所定の感染症による入院を保障する『感染症プラス入院一時金保険』を発売いたしました。

『感染症プラス入院一時金保険』は、「ウィズコロナの時代に、どこの会社よりも早く、新型コロナウイルス感染症による入院を手厚く保障する生命保険の提供を通じて、お客さまにご安心をお届けし、元気、長生きをサポートしたい」という想いをもって開発した商品です。

新型コロナウイルス感染症を含む所定の感染症等で入院された場合、業界最高水準である最高40万円を日帰り入院でも一時金でお受け取りいただけます。

発売からわずか  
13日で  
1万件突破!



## インターネットでお申込み完了!「スマ保険」

「スマ保険」では、インターネットによる保険見積もりや申込みと、同社が培ってきた「人」による丁寧なサービスを融合することで、アフターフォローの充実したインターネット完結型保険という、今までにない新たなコンセプトでの商品提供を行っております。

非対面でのお手続きをご希望されるお客さまのニーズに対応して、「スマ保険」でも『感染症プラス入院一時金保険』を販売しております。あわせて、営業職員チャネルでご好評いただいている『先進医療保険』も「スマ保険」でご加入いただけるようになるなど、お客さまの多様なニーズにこれまで以上にお応えできるようになりました。



太陽生命ダイレクト

# スマ保険



「スマ保険」専用ページはこちらです。  
[https://www.taiyo-seimei.co.jp/net\\_lineup/](https://www.taiyo-seimei.co.jp/net_lineup/)



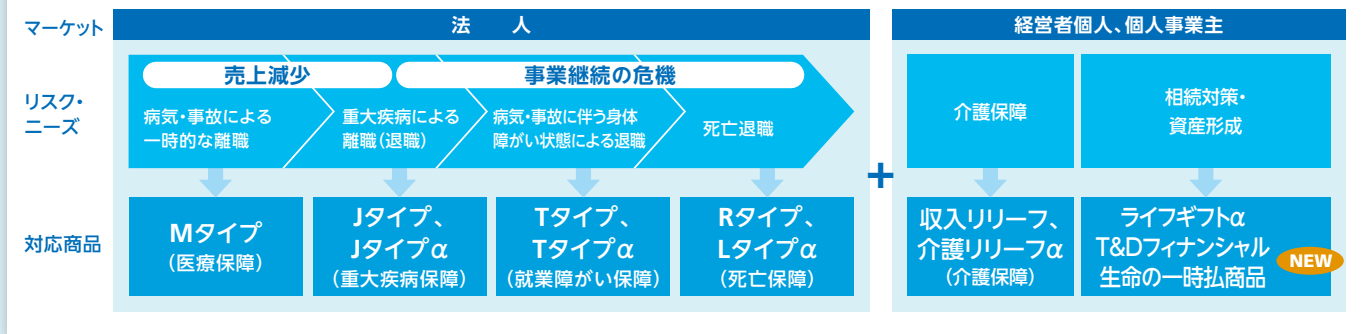
# DAIDO 大同生命

経営者の高齢化・現役期間の長期化を踏まえ、法人のお客さまへの死亡保障・就業不能保障の推進と経営者の個人保障の推進による「法人・個人を一体としたトータルな保障」を一層進めることで「コアビジネスのさらなる進化」に取り組んでおります。

2020年9月より、中小企業経営者等のお客さまからご要望の多い個人の資産形成ニーズに対応する商品をご提供するため、T&Dフィナンシャル生命の外貨為替連動型一時払終身保険『生涯プレミアムワールド5』の取扱いを開始しました。

## 中小企業と経営者を取り巻くさまざまなリスクに対し、“トータルな保障”でサポート

### トータル保障の推進



## すべての保険手続きで非対面化を実現～「つながる手続」の導入 第一弾～

お客さまの利便性向上や、ウィズ・コロナにおける“新しい生活様式”に適応するため、お客さまのニーズにより、「対面の安心」と「非対面の手軽さ」を選択いただけるよう、「つながる手続」として、すべての保険手続きで非対面化を実現してまいります。

その第一弾として、2020年9月から「保険加入のリモート手続き」として、被保険者のスマートフォン等で完結する手続きを開始いたしました。

また、リモート手続きで不明な点があれば、オペレーターが画面共有しながら操作をサポートしますので、安心してお手続きいただけます。



## T&Dフィナンシャル生命

ゆとりあるセカンドライフのための生活資金の準備・遺族保障等のニーズに応える資産形成型商品や、お客さまの家計見直しニーズ・保障見直しニーズに応える保障性商品をお届けしております。今後も引き続き、魅力的な商品・サービスの提供に努めてまいります。

### 『家計にやさしい終身医療』発売

必要な保障をしっかりとご準備いただける医療保険『家計にやさしい終身医療』をリニューアルし、2020年4月に販売開始しました。

主契約の選択パターンに加え、お客さまのニーズにあわせてさまざまな特別・特約を自由に組み合わせることができるよう改定を行いました。



### 『生涯プレミアムジャパン5』発売

当商品は、円建の終身保険『生涯プレミアムジャパン4』をリニューアルし、2020年9月に販売開始しました。

介護・認知症への保障を強化したほか、ご負担いただいていた初期費用を不要とするとともに、「高額割引制度」の取扱いを開始するなどの改定を行いました。



## T&Dアセットマネジメント

T&D保険グループの資産運用会社として、特長のある運用商品やサービスを提案・提供することにより、お客さまの資産形成に寄与できるよう努めております。

2020年5月よりSNSの公式アカウントを開設し、幅広い投資家層のみならずみなさまに向けてファンド情報や投資に役立つ情報の配信を開始いたしました。資産形成の意義や投資信託の特徴について分かりやすい情報を発信してまいります。

また投資先企業の選定にあたり、ESG（環境・社会・ガバナンス）の要素を取り入れることにより、持続可能な社会形成への貢献も目指しております。



## ペット&ファミリー 損害保険株式会社

ペット長寿化の進展などに伴い、ペットが動物病院で治療を受ける機会が増加傾向にある中、治療費の一定割合を補償するペット医療費用保険をお届けしています。

2020年8月よりグループの生命保険会社である太陽生命の販売チャンネルを通じて、『げんきナンバーワン Best』の販売を開始し、より多くのお客さまにペット保険をご提供できることとなりました。

今後も、最良の商品・サービスをご提供することで、大切な家族の一員であるペットとともに過ごす充実した生活に安心をお届けしてまいります。



# グループインフォメーション

T&D保険グループ「サステナビリティレポート2020」の発行



「Try & Discoverフォトコンテスト2020  
～今こそ写真でつながろう～」の開催

「T&D保険グループ人権方針」の制定

スイスのデジタルヘルスケア企業  
「ダカドゥ社」との業務提携

新型コロナウイルス感染症の  
対応に尽力されるみなさまへの  
寄付を実施

太陽生命の「スマ保険」が  
「第30回 読者が選ぶネーミング大賞」  
において生活部門1位を受賞



2019年度の景気動向を  
まとめた「大同生命サーベイ」  
年間レポートの発行

太陽生命、大同生命が  
「健康経営優良法人(ホワイト500)」に認定



9月

T&Dフィナンシャル生命が  
『生涯プレミアムジャパン5』  
のパンフレットでUCDA認証  
「見やすいデザイン」を取得

8月

7月

米国再保険持株会社フォーティテュード社の  
持分取得完了

第2回「プラチナキャリア・アワード」  
優秀賞を2年連続受賞



監査等委員会設置会社への移行

6月

「令和2年版 厚生労働白書—令和時代の社会保障  
と働き方を考える—」に当社グループの取組事例  
が掲載されました

## 太陽生命

大手生命保険会社で初  
めて「65歳定年制度」及  
び「最長70歳まで働け  
る継続雇用制度」を導入



## 大同生命

働く場所の柔軟化～  
テレワークの導入事例  
から～



# 業績ハイライト (主要経営指標)

## 連結主要収支

(単位: 億円)

	2020年度 通期業績予想	2020年度 中間期	進捗率	前年同期比
経常収益	19,600	11,664	59.5%	+7.1%
経常利益	1,830	1,500	82.0%	+121.6%
親会社株主に帰属する中間純利益	1,230	1,152	93.7%	+218.0%
グループ修正利益*	700	336	48.1%	▲4.4%

※当期純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を一部調整した経営実態を表す指標の一つ。

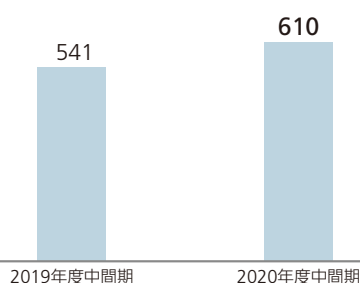
経常収益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は米国再保険持株会社を関連会社化したことに伴う持分法による投資利益の計上により、前年同期から増加しました。

グループ修正利益は、利息及び配当金等収入の減少等により、前年同期から減少しました。

### 新契約価値

**610**億円

(単位: 億円)

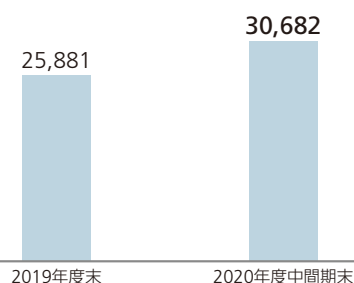


新契約価値は、当期中に販売した新契約の価値を表したものです。中間期は前年同期から増加し610億円となりました。

### Group MCEV

**3兆682**億円

(単位: 億円)



EV(エンベディッド・バリュー)とは、生命保険会社の企業価値を評価する指標の一つであり、MCEVは金融市場で取引される金融商品の価格と整合的に評価したEVです。中間期末では、3兆682億円となりました。

## 連結業績ハイライト

### T&Dホールディングス

- ・国内生命保険会社3社合算の新契約年換算保険料は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う営業自粛の影響等もありましたが、前年同期からほぼ横ばいの484億円となりました。
- ・保有契約年換算保険料は前年度末からやや減少し、1兆5,305億円となりました。第三分野の保有契約年換算保険料は、引き続き堅調に推移し、2,620億円となりました。

(単位: 億円)

	2019年度中間期 2019年4月 1日から 2019年9月30日まで	2020年度中間期 2020年4月 1日から 2020年9月30日まで
<b>契約業績(生命保険会社3社合算)</b>		
新契約年換算保険料	481	484
第三分野の新契約年換算保険料	146	142
保有契約年換算保険料	15,386 <sup>**</sup>	15,305
第三分野の保有契約年換算保険料	2,585 <sup>**</sup>	2,620
<b>損益関係</b>		
経常収益	10,889	11,664
保険料等収入	8,752	8,421
資産運用収益	1,792	1,973
その他経常収益	343	339
経常費用	10,212	10,163
保険金等支払金	5,853	6,516
責任準備金等繰入額	2,257	1,787
資産運用費用	699	505
事業費	1,072	1,025
その他経常費用	330	328
経常利益	677	1,500
親会社株主に帰属する中間純利益	362	1,152
<b>その他指標</b>		
連結ソルベンシー・マージン比率	1,107.0% <sup>**</sup>	1,128.9%
Group MCEV(終局金利を適用)	25,881 <sup>**</sup>	30,682

※2019年度末実績を記載。

格付け(2020年9月30日時点)

日本格付研究所(JCR) 長期発行体格付 **AA-**

## 業績ハイライト／子会社の状況

### 太陽生命

- ・第三分野の保有契約年換算保険料は新型コロナウイルス感染拡大の影響による保障ニーズの高まり等から、堅調に推移しており前年度末から2.4%増加し1,169億円となりました。
- ・MCEVは新契約価値の着実な積み上げや国内長期金利の上昇、内外株価の上昇等により、前年度末から945億円増加し9,903億円となりました。

(単位: 億円)

	2019年度中間期 2019年4月 1日から 2019年9月30日まで	2020年度中間期 2020年4月 1日から 2020年9月30日まで
<b>契約業績</b>		
新契約年換算保険料	162	146
第三分野の新契約年換算保険料	76	78
保有契約年換算保険料	6,004 <sup>**</sup>	5,938
第三分野の保有契約年換算保険料	1,142 <sup>**</sup>	1,169
<b>損益関係</b>		
保険料等収入	3,245	3,073
保険金等支払金	2,768	2,925
経常利益	216	212
中間純利益	87	84
<b>その他指標</b>		
基礎利益	274	292
順ざや額	143	140
ソルベンシー・マージン比率	805.5% <sup>**</sup>	828.4%
MCEV	8,958 <sup>**</sup>	9,903

※2019年度末実績を記載。

格付け(2020年9月30日時点)

格付投資情報センター  
(R&I)

保険金支払能力

**AA-**

日本格付研究所(JCR)

保険金支払能力格付

**AA-**

スタンダード&  
プアーズ(S&P)

保険財務力格付け

**A**

- ・新契約高は緊急事態宣言発令期間中の対面営業活動停止等の影響により前年同期から減少しましたが、概ね計画通り進捗しました。
- ・中間純利益は一般勘定運用収支の減少等により前年同期から減少し、191億円となりました。
- ・MCEVは、主力商品であるオーダーメイド型商品Lタイプαの新契約の着実な積み上げや、金融環境の変動により前年度末から増加し、1兆8,647億円となりました。

(単位: 億円)

	2019年度中間期 2019年4月 1日から 2019年9月30日まで	2020年度中間期 2020年4月 1日から 2020年9月30日まで
<b>契約業績</b>		
新契約年換算保険料	202	234
第三分野の新契約年換算保険料	67	63
保有契約年換算保険料	8,065 <sup>**</sup>	7,996
第三分野の保有契約年換算保険料	1,414 <sup>**</sup>	1,422
新契約高	18,416	16,551
就業不能保障商品・介護保障商品の新契約高	6,785	5,073
保有契約高	469,472 <sup>**</sup>	466,780
就業不能保障商品・介護保障商品の保有契約高	108,995 <sup>**</sup>	109,654
<b>損益関係</b>		
保険料等収入	3,999	3,924
保険金等支払金	2,549	2,517
経常利益	450	400
中間純利益	271	191
<b>その他指標</b>		
基礎利益	606	490
順ざや額	210	84
ソルベンシー・マージン比率	1,335.3% <sup>**</sup>	1,404.8%
MCEV	16,260 <sup>**</sup>	18,647

※2019年度末実績を記載。

**格付け(2020年9月30日時点)**格付投資情報センター  
(R&I)

保険金支払能力

**AA-**

日本格付研究所(JCR)

保険金支払能力格付

**AA-**スタンダード&  
プアーズ(S&P)

保険財務力格付け

**A**

- ・新契約年換算保険料は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う、緊急事態宣言発令による営業活動への影響等により、前年同期から12億円減少しました。同宣言解除後は、「生涯プレミアムワールド5」を軸に販売高は回復しています。

(単位: 億円)

	2019年度中間期 2019年4月 1日から 2019年9月30日まで	2020年度中間期 2020年4月 1日から 2020年9月30日まで
<b>契約業績</b>		
新契約年換算保険料	115	103
第三分野の新契約年換算保険料	1	1
保有契約年換算保険料	1,316 <sup>**</sup>	1,370
第三分野の保有契約年換算保険料	27 <sup>**</sup>	28
新契約高	2,073	1,716
平準払商品の新契約高	701	457
保有契約高	23,925 <sup>**</sup>	24,989
<b>損益関係</b>		
保険料等収入	1,479	1,388
保険金等支払金	520	1,054
経常利益	5	△40
中間純利益	1	△32
<b>その他指標</b>		
基礎利益	△25	△11
順ざや額	△11	△13
ソルベンシー・マージン比率	1,033.6% <sup>**</sup>	981.2%
MCEV	665 <sup>**</sup>	957

※2019年度末実績を記載。

**格付け(2020年9月30日時点)**格付投資情報センター  
(R&I)

保険金支払能力

**AA-**

日本格付研究所(JCR)

保険金支払能力格付

**AA-**

## 会社概要 (2020年9月30日現在)

名称(商号) 株式会社T&Dホールディングス  
所在地 東京都中央区日本橋二丁目7番1号  
代表電話 03-3272-6110  
設立時期 2004年4月1日  
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
基準日 定時株主総会において権利を行使できる株主は、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載・記録された株主といたします。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
特別口座 東京都府中市日鋼町1-1  
口座管理機関  
○テレホンセンター(フリーダイヤル)  
TEL 0120-232-711  
(土・日・祝祭日等を除く9:00~17:00)  
○郵送先  
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

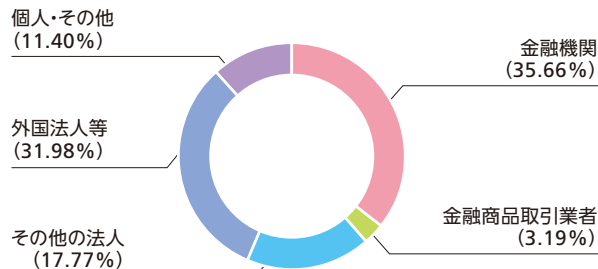
## 株式の状況 (2020年9月30日現在)

### 株式の状況

発行可能株式総数 1,932,000千株  
発行済株式の総数 633,000千株  
株主数 220,875名

### 株式分布状況

#### 所有者別株式分布状況



## 住所変更お手続きのご案内

お引っ越し等で住所が変わられた株主さまは、住所変更のお手続きをお願いいたします。右記お申し出先にご連絡いただきますとお手続きが可能です。  
当社の株式を管理されている口座によってお手続きの窓口が異なります。

管理口座	お申し出先
証券会社の口座	お取引の証券会社
三菱UFJ信託銀行の口座(特別口座)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ●テレホンセンター(フリーダイヤル) TEL 0120-232-711 ●郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号



本紙は、植物油インキを使用しております。